

引き続きの御協力
よろしくお願いします！

令和4年12月23日
京都市総合企画局
〔担当：国際交流・共生推進室〕
TEL：075-222-3072

厳冬期を迎えた姉妹都市キーウ市への物資支援(毛布、カイロの送付) 及び 更なる寄付の呼びかけ

京都市では、令和4年3月2日から、姉妹都市キーウ市における人道支援や文化・生活の復興に役立てていただくための寄付金を募るなど、京都市民の皆様等とともにキーウ市支援を行っています。

この度、キーウ市から、これまでの支援に対する謝意が示されるとともに、新たに防寒対策物資（災害時用毛布及びカイロ）の提供依頼を受けました。

つきましては、引き続き皆様から御寄付の御協力をいただきながら、キーウ市への物資支援を実施しますのでお知らせします。

1 キーウ市への支援物資提供（第一次）

(1) 支援物資

現時点で皆様からお預かりしている寄付金（約450万円）を活用して支援物資を購入の上、キーウ市に発送します。

- ・ 災害時用毛布（真空圧縮タイプ） 500枚
- ・ カイロ（使い捨て） 5,000個

(2) 物資提供スケジュール

速やかに支援物資の調達と輸送手段の確保を行い、準備が整い次第発送します。

（12月27日に輸送業者へ引き渡し、通常2週間程度で到着見込み）

2 更なる物資提供（第二次）に向けた皆様からの御支援（寄付金）のお願い

第一次の支援物資の送付に加え、より多くの物資をキーウ市民にお届けするため、下記のとおり、キーウ市支援物資の調達・輸送資金の御寄付を募ります。皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

※ なお、支援物資は、税関手続き等を速やかに行うとともに、効率的な輸送のため、一括して調達します。皆様がお持ちの物資による寄付受付はできませんので、御理解のほどよろしくお願いいたします。

(1) 寄付方法

令和4年3月2日から実施している、既存の「キーウ市への寄付金」に御寄付ください。

ア 寄付金箱設置箇所

- ・ 市役所本庁舎・分庁舎正面入口
受付時間：午前8時45分～午後5時30分（平日のみ）
- ・ 各区役所・支所地域力推進室（まちづくり推進担当）
受付時間：午前9時～午後5時（平日のみ）
- ・ 事業所等（主な場所：地下鉄各駅、図書館等）
受付時間：各施設の営業時間と同じ

イ 口座振込先

三菱UFJ銀行 京都支店 普通 3885405

京都・キエフ姉妹都市提携50周年記念事業実行委員会 委員長 西松卓哉

※ 振込手数料は、恐れ入りますが、各自御負担をお願いいたします。

※ 寄付控除の取扱いはございません。

(2) スケジュール（予定）

第二次の提供に当たっては、令和5年1月12日（木）までにお預かりした寄付金により支援物資を購入し、1月中旬に発送します（1月末までにキーウ市に到着見込み）。

(3) その他

今回（第一次、第二次）の物資提供支援の後も引き続き寄付金の受付を行い、集まった寄付金は、今後のキーウ市支援に役立てます。

3 本市寄付金の活用状況

(1) キーウ市への寄付金

この間、市民の皆様等からキーウ市・ウクライナ支援に関して総額1億1970万円の寄付金（キーウ市支援7,650万円、ウクライナ避難者支援4,220万円、キーウ市立大学支援100万円）をお預かりし、支援を行ってきました。

このうち、令和4年3月2日から受付を開始したキーウ市への寄付金（※）は、これまでに2回、キーウ市関係機関へ送金しました。

・送金額：72,032,639円（ユーロ建て送金）

〔 1回目：5月13日 60,799,548円 〕
〔 2回目：9月14日 11,233,091円 〕

・送金先：Future Kyiv Foundation（キーウ市指定の寄付金送金先機関）

※ 京都市会議員からの義援金や京都市役所職員による寄付金を含みます。

(2) キーウ市における寄付金の活用状況

キーウ市では、本市が送金した寄付金を活用し、ロシア軍によるミサイル攻撃を受けて部分的に破壊された9階建て集合住宅を、再び住めるよう修復されました。

<被弾直後の建物>



〔 1～3階が部分的に破壊、
4～5階では火災が発生した 〕

<寄付金による修復後の建物>



上：修復された建物の外観
右：修復を喜ぶ住人と
クリチコ・キーウ市長

ロシア軍のミサイル攻撃により一部破壊された集合住宅の修復

<被弾直後>

9階建ての集合住宅は、

- ・ 1～3階が部分的に破壊
- ・ 4～5階では火災が発生

するなど大きな被害を受けた



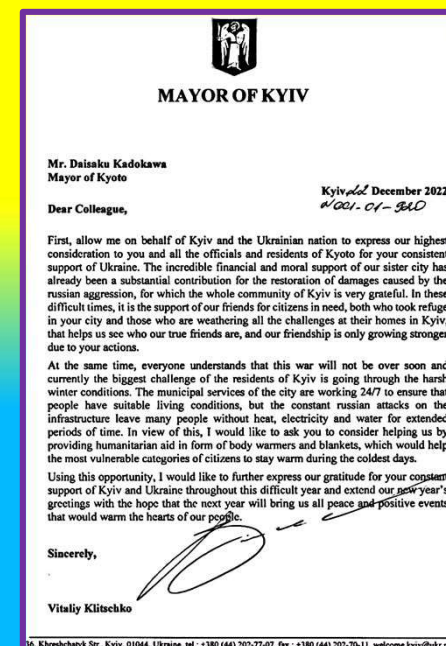
<皆様からの寄付金による修復後>



上：修復された建物の外観
右：修復を喜ぶ住人と
クリチコ・キーウ市長



キーウ市長から お礼の親書が 届いています



- ・ 姉妹都市である京都の皆様から、復旧にかかる支援をいただいたことに深く感謝します。
- ・ 厳しい冬を乗り切るため、毛布やカイロの人道支援をよろしくお願いします。



MAYOR OF KYIV

Mr. Daisaku Kadokawa
Mayor of Kyoto

Kyiv, 22 December 2022

N001-01-920

Dear Colleague,

First, allow me on behalf of Kyiv and the Ukrainian nation to express our highest consideration to you and all the officials and residents of Kyoto for your consistent support of Ukraine. The incredible financial and moral support of our sister city has already been a substantial contribution for the restoration of damages caused by the Russian aggression, for which the whole community of Kyiv is very grateful. In these difficult times, it is the support of our friends for citizens in need, both who took refuge in your city and those who are weathering all the challenges at their homes in Kyiv, that helps us see who our true friends are, and our friendship is only growing stronger due to your actions.

At the same time, everyone understands that this war will not be over soon and currently the biggest challenge of the residents of Kyiv is going through the harsh winter conditions. The municipal services of the city are working 24/7 to ensure that people have suitable living conditions, but the constant Russian attacks on the infrastructure leave many people without heat, electricity and water for extended periods of time. In view of this, I would like to ask you to consider helping us by providing humanitarian aid in form of body warmers and blankets, which would help the most vulnerable categories of citizens to stay warm during the coldest days.

Using this opportunity, I would like to further express our gratitude for your constant support of Kyiv and Ukraine throughout this difficult year and extend our New Year's greetings with the hope that the next year will bring us all peace and positive events that would warm the hearts of our people.

Sincerely,

Vitaliy Klitschko

(仮訳)

2022年12月22日

京都市長
門川大作殿

親愛なる皆様へ

初めに、キーウ市民とウクライナ国民を代表し、貴殿と京都市の関係者、住民の皆様によるウクライナへの変わらぬ支援に心から感謝を申し上げます。姉妹都市である京都市からの財政的・精神的支援は、ロシアの侵攻による被害の復旧に大きく役立てられ、それがキーウ市民、そして地域の力になっていることに、私達は深く感謝しております。現在もなお、京都市に避難した人々やキーウの自宅であらゆる困難に耐えている人々が大勢います。このような困難な局面において、助けを必要とする市民への温かい支援をいただいたことで、私達は真の友人を知ることとなりました。皆様のお心遣いにより、両市の絆はますます強くなっていると感じます。

同時に、この戦争がすぐには終わらないことは誰もが理解しており、今現在、キーウ市民にとって最大の試練は、厳しい冬の寒さを乗り越えなければならないことです。本市は、住民の安全な暮らしを確保するため、365日、24時間体制で対応しておりますが、ロシアのインフラへの継続的な攻撃により、多くの人々が長期間にわたって暖房や電気、水のない生活を強いられています。最も弱い立場の市民が、寒い日々を少しでも暖かく過ごせるよう、京都市の皆様には、カイロや毛布の人道支援を御検討いただければ幸いにございます。

この場を借りまして、苦しい一年を通してキーウとウクライナを支えてくださった皆様に感謝の意を表し、新年の御挨拶を申し上げます。来る年が、人々の心を温かくするような前向きな出来事と平和をもたらす年になることを願っております。

キーウ市長
ビタリ クリチコ